


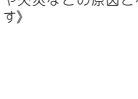







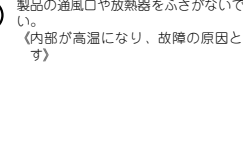


## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<p><b>オーディオの操作は、停車させてから</b> カーオーディオの操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。 《運転しながら行くと、気をとられて交通事故の原因となります》</p> 	<p><b>大音量は禁止</b> 走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。 《周りのできごとに気づかず、交通事故の原因となります》</p> 	<p><b>異状な音を出し続けない</b> スピーカーを長時間、音がわれたり歪んだ状態で使わないでください。 《発熱し、火災の原因となるおそれがあります》</p> 	<p><b>異物を入れない</b> 製品には放熱のための通風口が多く開いています。そこにゴミやドライバーなどの工具をむやみに入れないでください。 《ショート事故が起こり、感電や火災などの原因となります》</p> 
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

<p><b>コードを引っ張らない</b> コネクターを外すときは、リード線を引っ張らずにコネクター本体をもってロックを外してください。リード線の断線や、接触不良の原因となります。</p> 	<p><b>車以外には使わない</b> 製品は車に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。 《取り付け不備などにより、落下してけがをするおそれがあります》</p> 	<p><b>発熱部には手を触れない</b> 組み込みアンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は高温になります。使用中は操作部以外には手を触れないでください。</p> 
<p><b>通風口をふさがない</b> 製品の通風口や放熱器をふさがないでください。 《内部が高温になり、故障の原因となります》</p> 	<p><b>水をかけない</b> 雨が吹き込むところや、水がかかるところ、湿気の多い所はさけてください。</p> 	<p><b>ほこりをさける</b> ほこりがかかるところや、振動の多い場所、不安定な場所はさけてください。</p> 

### \*ショート、ショート事故(表紙)

電気のプラスとマイナスが直接つながってしまう事を言います。むき出しになったコード(電気配線)が他のコードや、車の金属部に接触した時等起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災につながります。

## ■取り付け上の注意

- 取り付け、配線などの作業を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。但し、車によっては、バッテリーを外すと機能の一部(ラジオのプリセットなど)が失われますのでご了承ください。
- 事故防止のため、スピーカーは運転の邪魔にならないダッシュボードなどに、必ず固定してください。
- 取り付けが終わったら、バッテリーにケーブルを接続する前に、もう一度取り付けや配線を確認してください。
- ヒューズが切れた場合は、各コードがショートしていないことを確認後、切れたヒューズと同じ容量のヒューズに交換してください。交換してもすぐ切れる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ■使用上の注意

- エンジンを止めた状態で使用しますと、バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光に当てたまま放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、エアコンを作動させるか、窓をあけて車を走らせ、車内の温度を下げてからご使用ください。
- 取り付けしたスピーカーにお子様がぶら下がったり、つかまったりするなどスピーカーに過大な力が加わるとトリムが破損したり、スピーカーが落下してけがをするおそれがあります。スピーカーに大きな荷重をかけないでください。
- スピーカー本体が汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のもので拭くと、傷が付いたり、色が変わることがあります。
- 水またはコーヒー、ジュースなどをかけた場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

## ■安全運転のために

- 運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。またカーステレオの操作は、停車中に行うようにして安全運転を心がけてください。
- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。周りへの配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。静かな夜間は小さな音でも聞こえやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## ■必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、電動ドリル、カッターナイフ、フェルトペン、ラジオペンチ

## ■ 構成部品を確認する

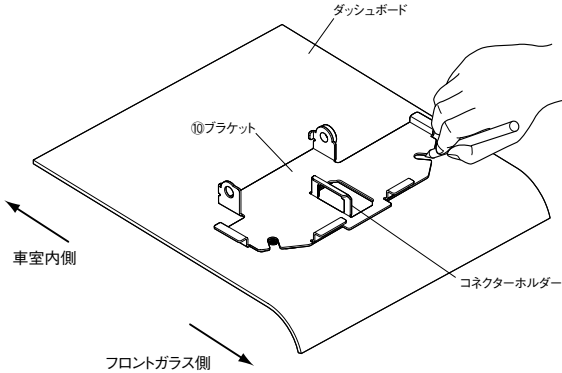
No.	部品名	外形	数量	No.	部品名	外形	数量
				⑯	小ネジ (M5×10)		2
①	スピーカー本体		1	⑰	小ネジ (M4×10)		1
②	ドレスバー		1	⑱	小ネジ (M4×12)		2
③	カバー (ルーフ取付用1)		1	⑲	タッピングネジ (φ4×16)		2
④	カバー (ルーフ取付 用2/両面テープ付)		2	⑳	スピードナット (φ4用)		2
⑤	カバー (ダッシュボ ード取付用)		1	㉑	スプリングワッシャー (M5用)		1
⑥	ブラケット (樹脂)		1	㉒	六角レンチ		1
⑦	ブラケット (ルーフ取付用1/両 面テープ付)		1	㉓	バックン (ルーフ取付用)		1
⑧	ブラケット (ルーフ取付用2)		1	㉔	バックン (コンソール取付用)		1
⑨	ブラケット (ルーフ取付用3)		1	㉕	RCAコード (2.5m)		1
⑩	ブラケット (ダッ シュボード取付用/両 面テープ付)		1	㉖	スピーカーコード (4m)		1
⑪	ブラケット (コンソール取付用)		1	㉗	アンプ		1
⑫	セーフティワイヤー		1	㉘	10Pコネクター付 コード (2.5m)		1
⑬	ボルト (M5×63)		1	㉙	タッピングネジ (φ4×16) (アンプ取付用)		4
⑭	六角穴付小ネジ (M5×16)		2	㉚	ワッシャー付小ネジ (M4×8) (アンプ取付用)		4
⑮	小ネジ (M3×6)		1	㉛	ブラケット (アンプ取付用)		2

# 取り付け方

スピーカーは、ダッシュボード、天井またはコンソールのポケットに取り付けることができます。

## ■ ダッシュボードへの取り付け

### 1. 取り付け場所を決める。



- ⑩ブラケットのコネクターホルダーがフロントガラス側に来るように合わせてフェルトペン等で抜き穴のマークを付け、電動ドリル等で穴(φ4)を2ヶ所開けます。  
(取り付け・加工の際には、お車の装備を取り外す必要がある場合があります。)

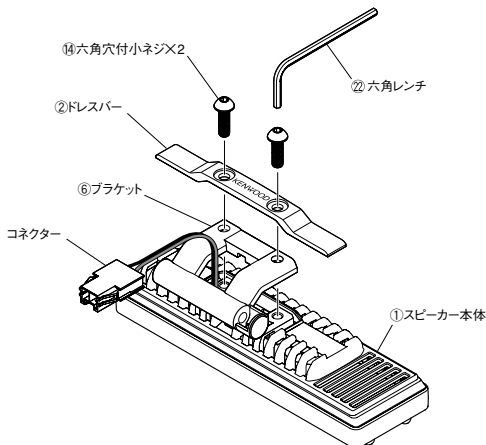
### 注意

- エアバッグと干渉しない位置に取り付けてください。
- エアコン吹出し口を塞がないように取り付けてください。
- 車の部品の取り外し、取り付けには専門の知識が必要です。お車のディーラーまたは販売店にご相談ください。

### お願い

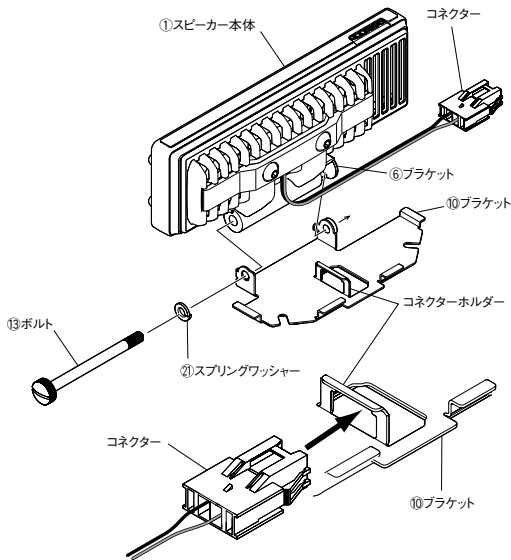
- 取付位置は、車の中央付近の運転の妨げにならない場所で、なるべく水平な場所に取り付けてください。

### 2. ドレスバーを取り付ける。



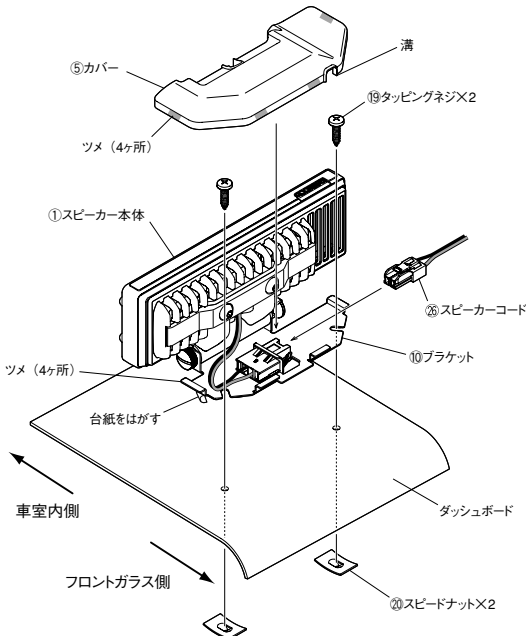
- ①スピーカー本体から出ているコネクターを⑥ブラケットの中央から通します。
- ①スピーカー本体背面のネジ穴と⑥ブラケットの穴、および②ドレスバーの穴を合わせ、⑭六角穴付小ネジを②②六角レンチで固定します。

### 3. ブラケットを取り付ける。



- ①スピーカー本体を少し寝かせながら⑥ブラケットの穴と⑩ブラケットの穴を合わせます。
- ①スピーカー本体を起し⑬ボルトを②スプリングワッシャー、⑩ブラケットの穴、⑥ブラケットの穴の順に挿入し、⑩ブラケットに装着されているナットに仮締めします。
- コネクターを⑩ブラケットの中央にあるコネクターホルダーにはめ込みます。

### 4. 取付金具の固定、およびスピーカーコードの接続。



- ⑩ブラケットの台紙をはがして、1.であらかじめ決めたダッシュボードの位置に貼り付けます。
- ⑬タッピングネジと②⑩スピードナットで⑩ブラケットをダッシュボードに取り付けます。

#### お願い

●市販のクリーナーを使用して取り付け場所の汚れを十分取り除き、乾燥させてから貼り付けてください。

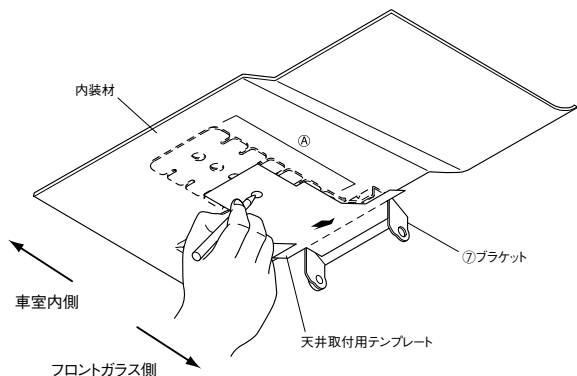
- ⑩ブラケットにはめたコネクターに②⑥スピーカーコードを接続します。
- ⑤カバーのツメと⑩ブラケットのツメを合わせ、⑤カバーの溝から②⑥スピーカーコードを引き出せば取り付け完了です。
- 好みの音質に合わせて①スピーカー本体の角度調整をし、⊖ドライバーで⑬ボルトを本締めします。  
(固定の際は⊖ドライバーを使用して0.785N・m(8kgf・cm)以上の締付トルクで固定します。)

## ■ 天井への取り付け

### ⚠ 注意

- 運転の妨げになる場所への取り付けは行わないでください。
- バックミラーの可動で視界を妨げる場所への取り付けは行わないでください。
- 車輛の純正部品の接触、機能に支障を起こす場所には取り付けを行わないでください。

### 1. 取り付け場所を決める。



- サンバイザー、室内灯等を外し、車の内装材が自由に動く状態にします。

### 注意

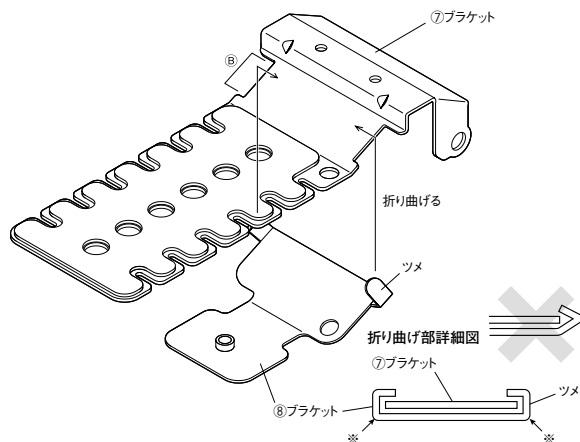
- 車の部品の取り外し、取り付けには専門の知識が必要です。お車のディーラーまたは販売店にご相談ください。

- 車体天井板金部の比較的平らな場所 (7) ブラケットの両面テープが2/3以上貼り付けられる面)、かつ内装材が比較的平らな部分を探し、内装材と板金部の間に(7)ブラケットを差し込み仮に設置します。(7)ブラケットの形状が板金部と合わない場合には、(7)ブラケットの(A)部をわん曲させて、板金部の形状に馴染ませます。馴染み難い場合には暖めると馴染みやすくなります。)
- P.13の天井取付用テンプレートを線に合わせて切り取り、仮に設置した(7)ブラケットに合わせて、フェルトペン等でマーキングします。
- (7)ブラケットを取り除いた後に電動ドリル等で内装材に穴(φ5)を開けます。

### 注意

- 板金部を傷付けないように作業してください。

### 2. ブラケットの前加工をする。

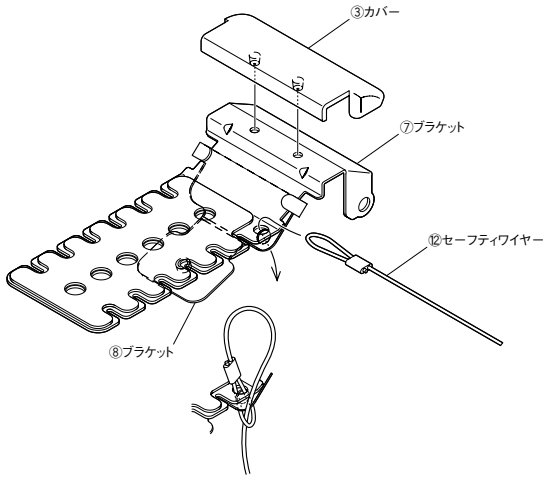


- (7)ブラケットに(8)ブラケットのツメをコの字型に折り曲げて取り付けます。(8)ブラケットのツメはラジオペンチ等で※部を起こすようにして折り曲げます。
- 組み付け後は(8)の範囲内で(8)ブラケットが可動するのを確認します。

### 注意

- (8)ブラケットのツメを潰し過ぎると、固定の際に板金部に馴染まない場合があります。

### 3. セーフティワイヤーを取り付ける。

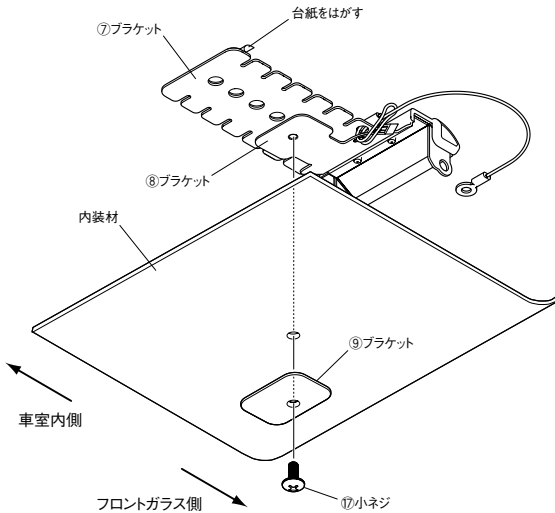


- ⑦ブラケットの穴の上から⑫セーフティワイヤーの輪の部分を通し、続いて⑧ブラケットの穴を通します。
- 通した⑫セーフティワイヤーの輪の部分に⑫セーフティワイヤーのもう一方の丸端子部分を通し引っばります。
- ⑦ブラケットの端部を③カバーの溝にはめ込み、③カバーの突起を⑦ブラケットの穴に押し込みます。(押し込み難い場合には、突起と穴の位置を合わせた後、突起を指で動かすと押し込みやすくなります。)

#### 注意

- フロントガラスに損傷を与えないために、必ず③カバーを取り付けてください。

### 4. ブラケットを固定する。



- ⑦ブラケットの台紙をはがしてあらかじめ決めた車体天井板金部に貼り付けます。

#### お願い

- 市販のクリーナーを使用して取り付け場所の汚れを十分取り除き、乾燥させてから貼り付けてください。

- ⑰小ネジで⑧ブラケットと⑨ブラケットとで車の内装材を挟み込むようにブラケットを固定します。(ネジ穴がうまく合わない場合には⑧ブラケットを内装材と平行になるように折り曲げて調整します。)

#### 注意

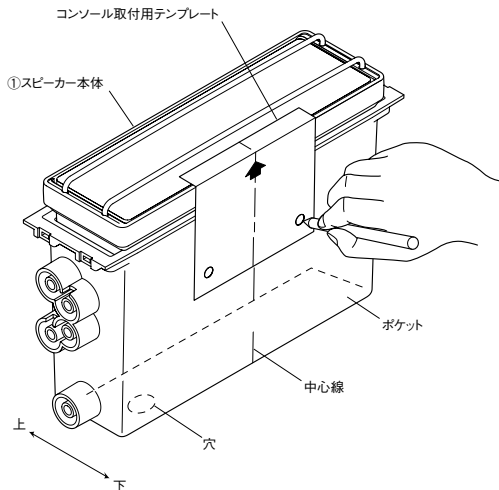
- アンテナ線等、車輛側配線をはさまないよう取り付けてください。





## ■ コンソールのポケットへの取り付け

### 1. コンソールのポケットを加工する。

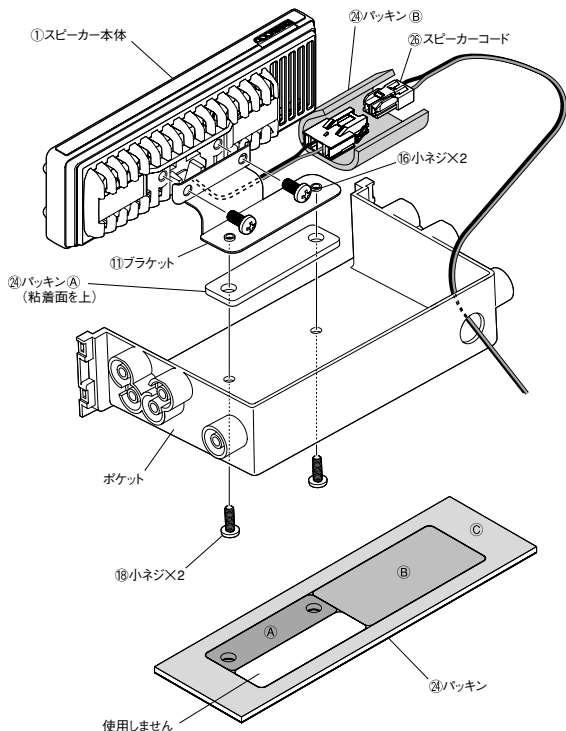


- コンソール周辺を取り外します。
- コンソールのポケットの下面に左右の中心線を書きます。
- ①スピーカー本体をポケットの開口部と平行になるように当てはめます。
- P.13のコンソール取付用テンプレートを切り取り、点線部分を折り①スピーカー本体端部に掛け、ポケットに書いた中心線とテンプレートの中心線を合わせます。
- フェルトペン等でネジ穴をマーキングして、電動ドリル等で穴(φ5)を開けます。
- ポケットの背面側に②スピーカーコードを通すための穴(φ15程度)を開けます。

### 注意

- 本製品にはポケットは付属しておりません。お車に付いているポケット、あるいは市販のポケットを購入する必要があります。

### 2. ブラケットを取り付ける。

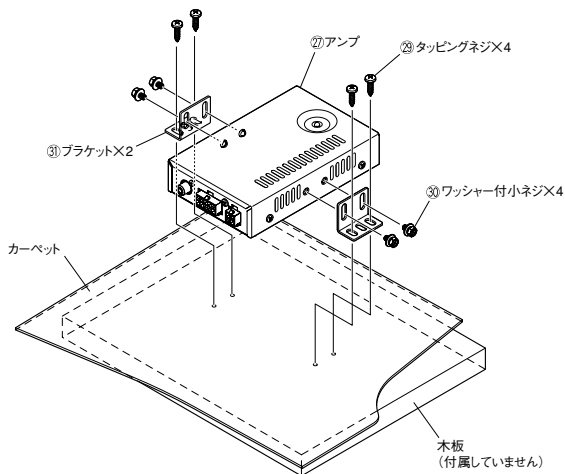


- ①スピーカー本体に①ブラケットを⑬小ネジ2本で固定します。
- ②バックシンの(A)部分をはがし①ブラケットの底面に貼ります。
- ポケットの背面側に開けた穴から②スピーカーコードを通し①スピーカー本体のコネクターと接続します。
- ②バックシンの(B)部分を接続したコネクターに巻き付けます。
- ポケット外周の隙間が気になる場合には②バックシンの(C)部分をポケットの開口部に合わせ貼り付けます。
- ①スピーカー本体をポケットにはめ込み、①ブラケットのネジ穴をポケットのネジ穴に合わせ、⑭小ネジでしっかり固定します。
- ②バックシンの外周の不要部分をさみ等で切り取ります。
- コンソール周辺を元に戻せば取り付け完了です。

### 注意

- 車の部品の取り外し、取り付けには専門の知識が必要です。お車のディーラーまたは販売店にご相談ください。

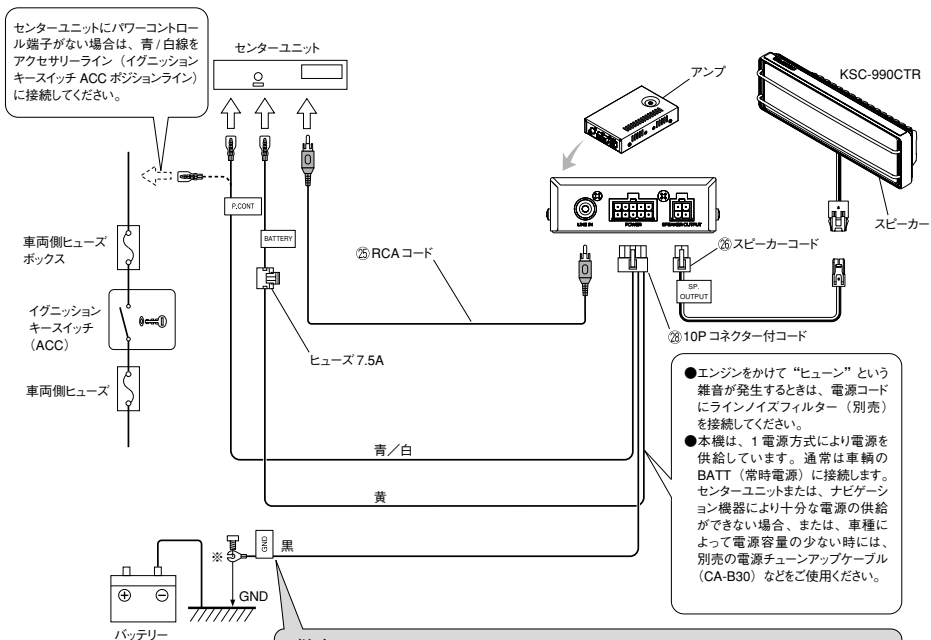
## ■ アンプの取り付け



- ① ブラケットを② アンプに③ ワッシャー付小ネジを使用してしっかり取り付けます。
- 厚さ20mm以上の大きめな板を用意し、車のカーペットを下に置きます。
- ② タッピングネジを使用して、カーペットの上から③ ブラケットを板にしっかり取り付けます。

## 接続のしかた

### ■ 接続例

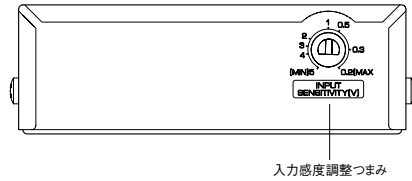
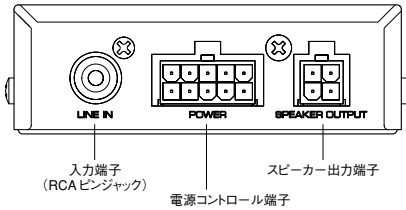


- エンジンをかけて“ヒューン”という雑音が発生するときは、電源コードにラインノイズフィルター（別売）を接続してください。
- 本機は、1電源方式により電源を供給しています。通常は車中のBATT（常時電源）に接続します。センターユニットまたは、ナビゲーション機器により十分な電源の供給ができない場合、または、車種によって電源容量の少ない時には、別売の電源チューンアップケーブル（CA-B30）などをご使用ください。

**ご注意：**  
 ※黒リードのグラウンド端子は、車両の塗装などされていない金属部分（シャーシなど）に直接ねじ止めします。この端子を接続しないで電源をONすると、オーディオシステムの故障につながるため、ご注意ください。また、塗装された鉄板部などではアースされず、正常に動作しませんのでご注意ください。

# 操作

## ■アンプ各部の名称



## ■基本動作

入力感度調整つまみを⊖ドライバーで回して、音のレベルをお好みに合わせて調整します。  
初期設定は、1Vになっています。

## ■パワーインジケータ

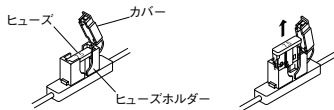
【電源ON】 赤く光る      【電源OFF】 光が消える



## ■ヒューズ交換の仕方

指定容量のヒューズと交換します。

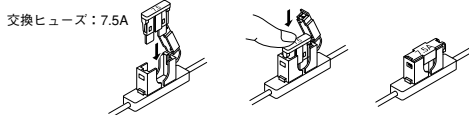
- 抜き方：1. カバーを開けます。  
2. ヒューズをペンチでつまんで、上に引っぱります。



### ご注意：

必ずヒューズに表示された容量(アンペア数)のものと交換してください。本製品は7.5Aです。

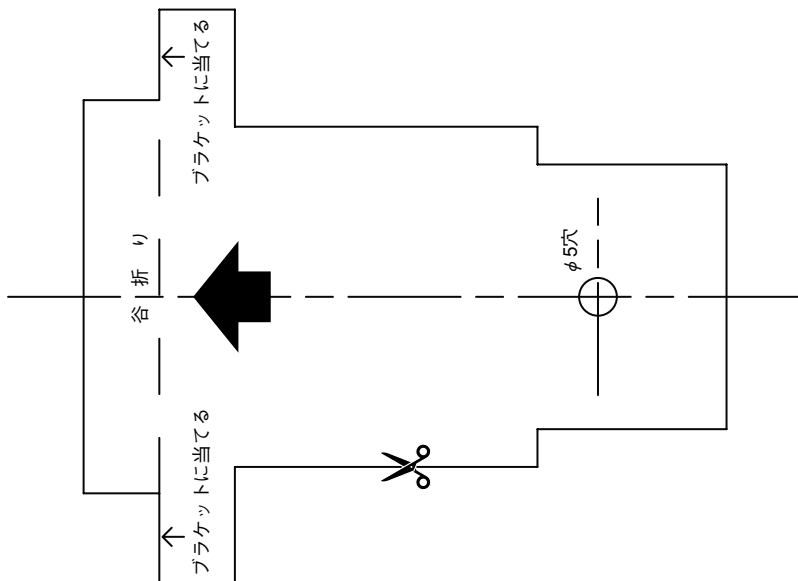
- 差し込み方：1. ヒューズをヒューズホルダに軽く入れて、指で完全に押し込みます。  
2. カバーを閉めます。



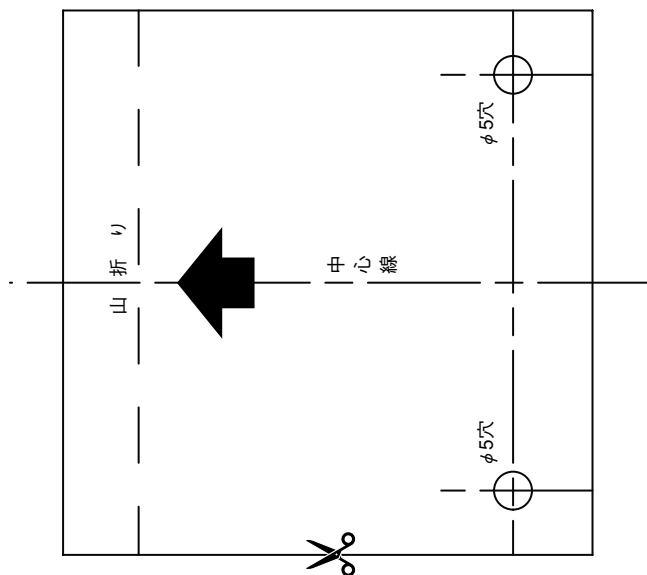
M E M O

# テンプレート ※線に沿って切り取って使用します。

## ■ 天井取付用テンプレート



## ■ コンソール取付用テンプレート



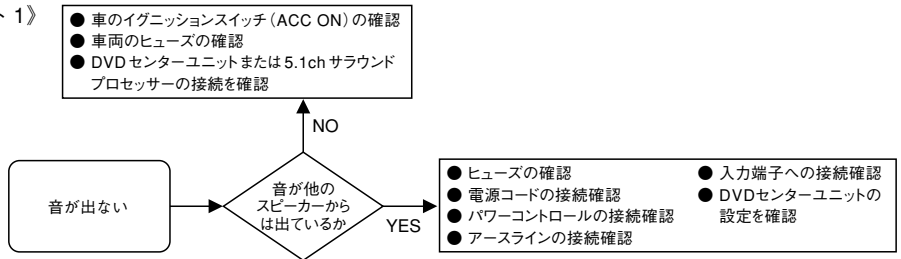
M E M O

# 故障と思われる症状ですが…

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスを依頼される前に、症状にあわせてもう一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	対 処 方 法
音が出ない。	チャート1参照。	チャート1参照。
音が小さい (大きい)。	INPUT SENSITIVITYつまみが正しい位置にセットされていない。	『■操作をする』の『■基本動作を参照してください。』
音質が悪い (音がひずんでいる)。	スピーカーコードが車両のねじにはさまれている。	スピーカーコードをチェックしてください。

《チャート1》



## 定 格

で注意

これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。

形 式	アクティブセンタースピーカー
〔アンプ部〕	
最大出力	70W
定格出力	35W(2Ω、1%THD)
電 源	DC14.4V(動作範囲10.5~16V)
最大消費電流	4.2A
ヒューズ容量	7.5A
外形寸法	(幅)144×(高さ)31×(奥行)94mm
質 量	390g
〔スピーカー部〕	
方 式	NXT®*方式
最大入力	70W
定格入力	35W
インピーダンス	2Ω
周波数特性	160~25,000Hz
使用スピーカー	フルレンジ
外形寸法	(幅)160×(高さ)50×(奥行)41mm
質 量	200g

\*NXT®は、英国 New Transducers Limited 社の登録商標です。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 保証書（別添）

この製品には、保証書を添付しております。  
保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社では、カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

## 修理を依頼されるときは

異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービス窓口へお問い合わせください。

保証期間内でも「安全上の注意事項」を守らない使用で故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

### 保証期間中は

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金の仕組

（有料修理の場合は、次の料金が必要です。）

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品の代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

お買い上げ店名

年 月 日

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター 電話 (0570)010-114（ナビダイヤル）、携帯電話・PHSでのご利用は電話(045)933-5133

〒226-8525 横浜市緑区白山1-16-2

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。